

## ご挨拶

昭和薬科大学/APDD 代表理事

山崎 浩史

医薬品開発支援機構(APDD)は、日本薬物動態学会 (JSSX) と薬物動態談話会の支援を受け 2005 年に設立され、2009 年一般社団法人化を経て、創薬推進支援を図ってきました。2019 年から JSSX と APDD が合同で、薬物動態研究者が貢献できる・すべき研究内容に関して直接議論する場として、JSSX-APDD 合同ワークショップが開催されています。第一回および第二回の同対面会議は、東京都町田市の昭和薬大会場にお越しいただける皆様に絞られましたが、以降のオンライン会議では全国から多数の皆様のご参加をいただき、広範かつ多様な討論が成されました。この間、2021 年には APDD が Phase-0/Microdosing Network 第二回会合を共催しております。

今般 APDD 社員による企画立案にて、第九回合同ワークショップが開催される運びとなりました。会の詳細な狙いは、各演者の先生方のご講演要旨等をご参照ください。

近年 APDD 事務局を取り巻く環境も変化しております。長年レンタル利用してきた APDD ホームページやメールサーバーが、最新の Google セキュリティに対応できず、本年より@niftyの個人用ホームページと Gmail 利用とそれらの形態を変更しております。昨年ある臨床系の大規模年会では、年会要旨等が完全 Web 公開されておりましたが、本要旨集では、旧来ワークショップ登録者専用 Web サイトから、要旨 PDF ファイルそのものにパスワードをかける方式と変更いたします。これらは、メールにてワークショップに参加登録をいただいた皆様に、個別にお知らせしております。

今後の諸問題に関する各所での討論成果が、合同ワークショップご参加の皆様にもうまくフィードバックされることを祈念し、開催の挨拶とさせていただきます。

### [略歴]



昭和薬科大学 薬物動態学研究室 教授

岐薬大、大阪府公衛研、Vanderbilt 大、金大薬 と北大薬 (2001 年 7 月) を経て、2005 年 4 月より現職。JSSX と ISSX 理事、JSSX Fellow。APDD 総務理事(2010-18 年)、代表理事 (第 4 代、2018 年 7 月より)。